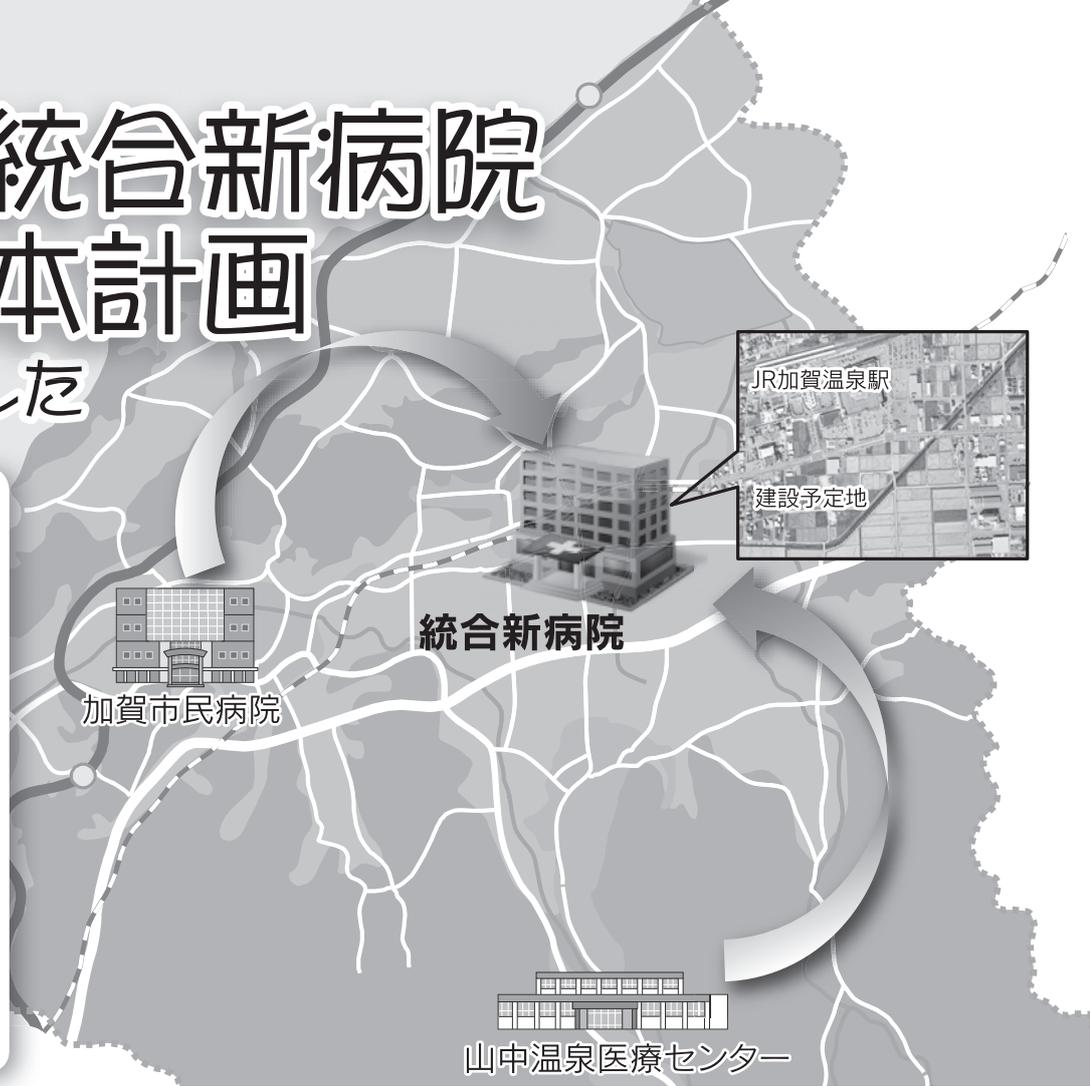


加賀市統合新病院 建設基本計画

を策定しました

平成23年11月に策定した「加賀市医療提供体制基本構想」に基づき、加賀市民病院と山中温泉医療センターを統合する新病院の規模や機能など、建設全般に関する基本的な方針を定めた「加賀市統合新病院建設基本計画」を平成24年8月に策定しました。

今回は、この基本計画について取り上げます。



統合新病院

加賀市民病院

山中温泉医療センター

新病院の規模・機能

病床数は300床

新病院では、一般病床300床を基本とします。うち回復期リハビリテーション病棟は45床程度設置します。

また、一般病床の中に集中治療室を設置します。

診療科は15科

診療科目は現2病院の16科の機能を継続します。

診療科名は、患者に分かりやすく、次の15科とします。

- ・内科（循環器、呼吸器、内分泌・代謝、腎臓、神経、消化器、リウマチ、血液・腫瘍）
- ・外科（消化器、呼吸器、乳腺、肛門、腫瘍）
- ・整形外科
- ・産婦人科
- ・小児科
- ・眼科
- ・耳鼻いんこう科
- ・皮膚科
- ・泌尿器科
- ・脳神経外科
- ・放射線科
- ・麻酔科
- ・リハビリテーション科
- ・救急科
- ・病理診断科

配置計画・交通計画

周辺の景観・環境に配慮

建設予定地に広がる白山眺望や田園風景などの景観や周囲の住環境などに配慮します。

利便性に配慮した計画

利用者の利便性を確保するため、路線バスを確保し、バスやタクシーも円滑に乗り入れできる計画とします。また、車いすや歩行者にも配慮します。

駐車場は900台程度

病院利用者と病院スタッフ用を合わせて、900台程度の駐車場を確保します。

増築などのスペースを確保

将来の病院機能の変化に対応できるように増築などのスペースを敷地内で確保します。

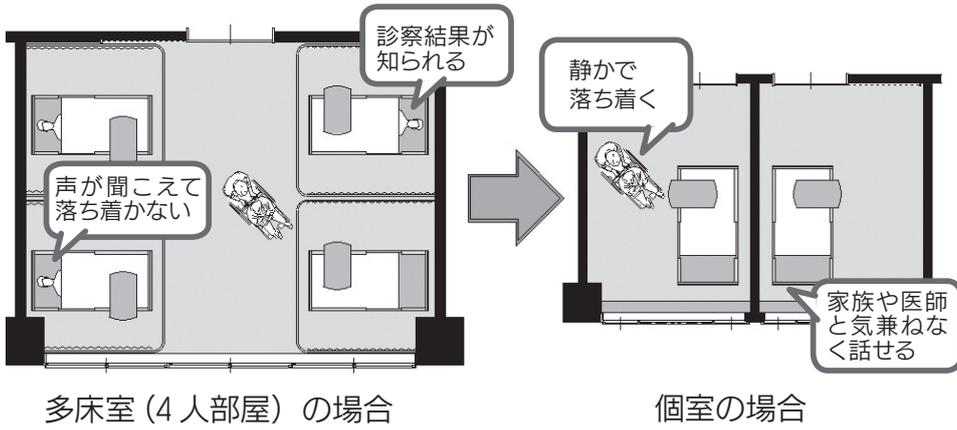


新病院の新たな機能

充実した医療提供体制を構築するため、新病院に次の機能を整備します。

一般病室の個室化

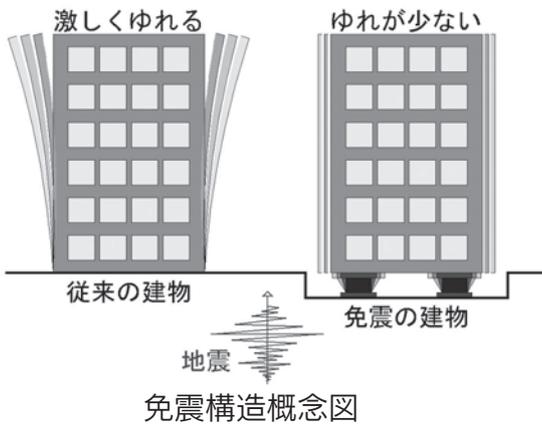
患者のプライバシーの保護など療養環境の向上を図るため、一般病室は個室を基本とします。



災害に強い病院

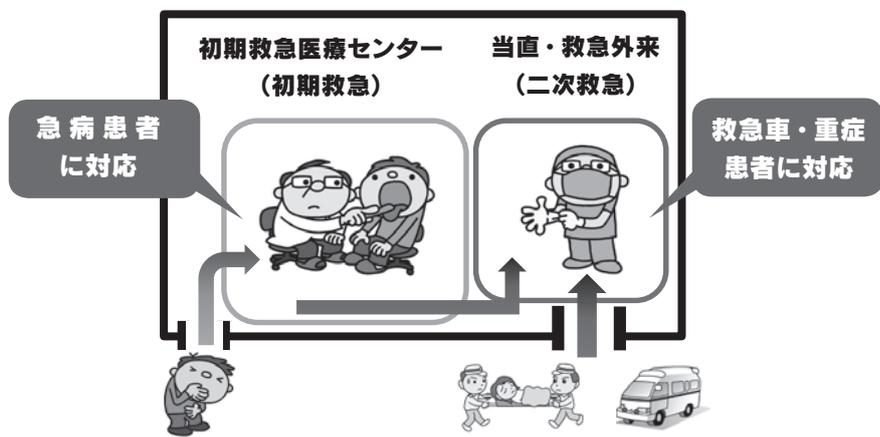
災害時も診療機能を維持するため、3日分相当の水、食料、薬品を保管できる備蓄庫や電気などを安定供給できる設備を整備し、建物は免震構造を採用します。また、災害時の患者をトリアージ※できるスペースを確保します。

※トリアージとは
傷病者を重症度と緊急性によって選別分ける作業です。



初期救急医療センターの併設

初期救急医療センターを病院内に併設し、急病患者や救急車・重症患者に対する診療体制を構築します。

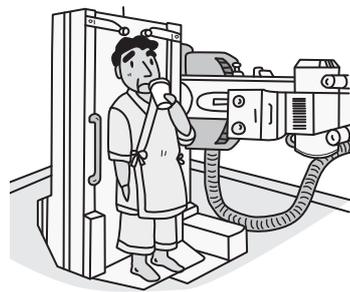


医療機器の増強

最新の医療機器(CTや血管造影装置など)を整備し、診療機能を高めます。また、将来、機器の増設ができるようスペースを確保します。

健診センターの併設

健診センターを病院内に併設し、人間ドックや健康診断を充実することにより、疾病の予防と早期発見を図ります。



集中治療のための専用病棟設置

重症者などのさまざまな病状に対応できるように集中治療室を整備し、専属のスタッフを配置します。

LDRの整備

出産時の妊婦の負担を軽減するため、陣痛、分娩、回復を1つの部屋で行えるLDR※室を設置します。

※LDRとは
Labor(陣痛)、Delivery(分娩)、Recovery(回復)の頭文字を表しています。

医療と介護の連携

病院内に地域包括支援センター機能を設置し、入院時から退院後の生活について支援します。



パブリックコメント

統合新病院建設基本計画（原案）について、7月20日から8月6日までの18日間、市民の皆さんから意見募集（パブリックコメント）を実施しました。代表的な意見やその回答について、ご紹介いたします。

「統合新病院の基本理念」

に対するご意見

■ご意見

「地域に根付いた医療の実践」として、在宅介護をフォローしていく機能と、病床を確保して欲しいと思います。

●回答

患者ができる限り地域で暮らせるように、病院だけでなく地域開業医と連携し、在宅医療、保健事業、介護サービスなどと併せて包括的に支援する体制を整備することとしています。

「部門別計画」に対するご意見

■ご意見

医師や看護師の負担が大きくなるような勤務体制をお願いします。

●回答

複数医師による当直体制や子育て世代などの多様な勤務形態の導入など、職員が働きやすい環境をつくっていききたいと考えています。

「建設計画」に対するご意見

■ご意見

なぜ建設地として加賀温泉駅前を選んだのですか。

●回答

市内の全地域からの患者の通院の利便性、救急搬送への対応、市内外からの医師をはじめとする職員の通勤など、最も利便性が高い場所と考えるからです。

「経営シミュレーション」に対するご意見

■ご意見

統合新病院を建設・運営していく上で借金の返済計画および、それらによる加賀市財政への影響を教えてください。

●回答

建設費の借金の償還については病院事業の収入（診療報酬）、国からの交付金、市税により負担します。負担の割合は4頁下のグラフのとおりです。

りです。

各年度の市税による負担額は、現在の2病院に負担している額を超えない計画としていますので市の財政への影響はほとんどありません。



その他のご意見

■ご意見

全国的に医師・看護師が不足する中、都会に流出した優秀な人材を一人でも多く加賀市に引き戻せるような質の高い病院であってほしいです。

●回答

人材を確保するために、職員にとっても魅力ある病院づくりを行います。また、現在も全国各地の加賀市に縁のある医師を中心に訪問し、人材確保に向けた取り組みを精力的に行っています。

☎医療提供体制推進室

☎72-7823

「加賀市統合新病院建設基本計画」

市民説明会を開催します

とき 10月13日(土) 13時30分～
ところ アビオシテイホール
内容

第1部 基本計画説明会

第2部 パネルディスカッション

・テーマ

「総合新病院とこれからの地域医療」

・パネリスト

稲坂暢さん（加賀市医師会顧問）

※一時預かり託児所をご用意して

います。託児を希望する人は、10月11日(木)までに医療提供体制推進室に申し込んでください。

☎医療提供体制推進室

☎72-7823